



## 日本の精神性と社会

### 心あったかニュース

年の初めのニュースとして、ヤフーニュースにありました、理想の未来は「自然林のよう」。妥当な競争と自分らしさ生かす調和的社会より、考えてみたいと思えました。ヤフーニュースオリジナルページより

慶応義塾大学教授の前野隆司さんが人間の未来について論じる連載の9回目は「理想的な未来」がテーマとなっています。前野さんが思い描く、ミクロレベル(生活レベル)から見た理想的な未来について。江戸時代の日本について書かれた『ジュリマン旅行記 清国・日本』によると、ジュリマンは、江戸時代末期の日本に一ヶ月滞在した際の様子について、以下のように述べています。団子坂(文京区千駄木)の丘から眺めると、江戸は森の真ん中にある二つの広大な街のようである。我々は数々の美しい庭園と公園を横切つて、さらに王子まで旅を続けた。日本人はみんな園芸愛好家である。日本の住宅はおしなべて清潔さのお手本になるだろう。日本人が世界で

一番清潔な国民であることは異論の余地がない。この国には、平和、行き渡つた満足感、豊かさ、完璧な秩序、そして世界のどの国にも増してよく耕された土地が見られる。玩具の(申略)仕上げは完璧。しかも仕掛けが極めて巧妙なので、ニールンベルグやパリの玩具製造者はとても太刀打ちできない。彼ら(日本の役人)に対する最大の侮辱は、たとえ感謝の気持ちからでも現金を贈ることであり、また彼らの方も、現金を受け取るくらいなら『切腹』を選ぶのである。「うれいすねえ。美しい森のような都市、江戸。そして、そこに住む、精神性の高い日本人。すばらしいと思いませんか。現代社会では、日本の幸福度はあまり高くないと言われていますから、もつと幸せな社会にしたいものです。江戸時代のように、緑に満ちているといいですね。緑に囲まれていると幸福度が高い、という研究結果もあります。争いがなく、犯罪も少なく、政治的に安定していて、過度な競争社会ではなくみんなが信頼し合つてい社会。競争がないと覇気がないはずだという人もいます。私が言いたいのは、人々が相手を蹴落とそうとして戦つて、憎しみ合つたり優越感を感じたりするような競争は不要で、相互に尊敬し合いながら

切磋琢磨する、スポーツマンシップのような競争ならば大歓迎、という世界です。レッドオーシャン(競争の激しい既存市場)ではなく、ブルーオーシャン(新規開拓市場)戦略が中心となるような競争の方がいいとは思いますが。何か新しい製品・サービスを出したり、個性・独創性を発揮したユニークな製品を出すことができれば、誰も蹴落とすことなく、つまり過当な競争をすることなく、自分らしさを発揮することができ、自分らしさは働く人の幸福度を高めます。

#### 編集後記

自然を大切にすると、一人ひとりの精神性がとても大切だと思ひました。江戸時代はこのベースがあつたのだと思ひますが、これから、どうしたいか?をしつかり考えたビジョンが必要だと思ひました。